

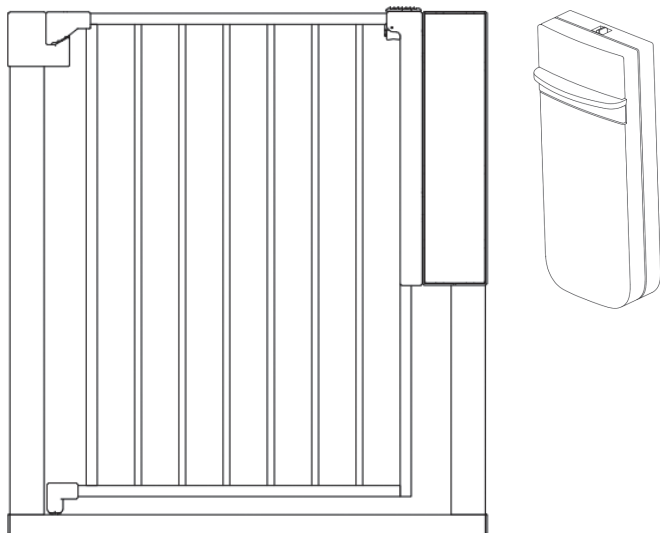


Neb:O

センサー付オートクローズ ベビーゲート

取扱説明書

取付け幅：約77.0～82.0cm



このたびは「センサー付オートクローズベビーゲート」をお買い上げ頂きまして、まことにありがとうございます。

この製品を安全に正しく使用して頂くために、この取扱説明書をよくお読み頂き、十分に理解して設置をしてください。

お読みになったあとも、手元におき大切に保管してください。

目次

■ 目次	2
■ 使用上のご注意	3
■ 梱包内容	4
■ 設置の注意事項	5
■ 設置の仕方	7
■ ゲート設置後の確認事項	10
■ センサー設置時の注意事項	12
■ センサー・レシーバーの使い方	13
■ センサーについて	14
■ 保証書	16

使用上のご注意

警告

- 以下の項目が守られず、誤った使い方をすると、ケガや死亡などの事故が生じる恐れがあります。
- お子さまの安全のため、本取扱説明書を必ずお読みいただき正しくお使いください。
- 本製品は生後6か月～2歳のお子様向け製品です。
- ゲートに登ったり、自身でゲートのロックを解除できるお子さまには使用できません。
- お子さまを残してその場を離れないでください。この製品はすべての事故を防ぐわけではありません。
- 本製品を取付け後もお子さまの安全には十分注意してください。
- 本製品またはいずれかの部品が破損した場合は、ただちに使用を中止してください。
- 本製品の取付け方を誤ると大変危険です。
- 本製品がドアフレーム、支柱、壁にしっかり固定できない場合は使用しないでください。
- 本製品は、通路幅全体に設置してください。
- ドアが所定の位置で閉まらない、ロックされない、自動で閉じない場合は、ゲートが正しく設置されていない可能性があります。一度取り外し、再度設置していただき、ゲートが床面に対して垂直であることをご確認ください。
- 定期的に本製品を点検し、ゲートが所定の位置にしっかり固定されていることを確認してください。必要に応じて調整を行ってください。
- センサー・レシーバーは精密機器です。落としたり放り投げたり、外から強い衝撃をかけないでください。
- センサー・レシーバーは電子部品を使用していますので、水をかけたり、水に浸けたり、結露する場所に設置しないでください。
- センサー・レシーバーを直射日光の当たる場所や、高温、粉塵、湿気もしくは振動の多いところで保管及び設置は避けてください。
- お子様センサーに近づきドアを開けることができる場合は、センサーのスイッチをオフにして、手動でドアを開閉してください。センサーはお子様手の届かないところに保管してください。
- 電池残量が少ない場合は、バッテリーを交換してください。電池残量が少ない状態で使い続けると、センサー・レシーバーの感知に影響をきたします。
- 本取扱説明書以外の組み合わせで、拡張フレームを使用しないでください。
ヒーターや暖房機器のそばで本製品を使用しないでください。変形や破損、やけどの原因となります。
- 本製品は屋内での使用のみを目的としております。屋外で使用しないでください。
- ゲート付近に踏み台になるような物を置かないでください。
- 家具や建具・窓等に設置しないでください。
- 古い電池と新しい電池を混ぜないでください。
- 異なる種類の電池を混ぜて使用しないでください。

お手入れ方法

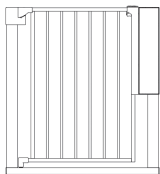
- めるま湯または中性洗剤を使用して、布またはスポンジで表面を軽く拭いてください。
- 研磨剤入りのクリーナーや漂白剤、アンモニアベースの洗剤は絶対に使用しないでください。

梱包内容

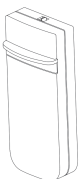


重要

組立てる前に、全ての部品が揃っているか確認してください。



ゲート



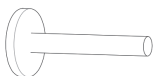
センサー



センサーホルダー



補助ソケット×4



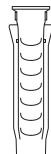
取付ボルト×4



調節ノブ×4



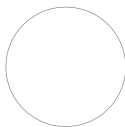
補助ソケット用ネジ×8



アンカー×8



センサーホルダー用
両面テープ×2

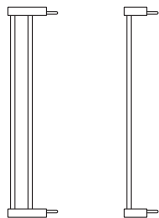


補助ソケット用
両面テープ×6



レンチ

※拡張フレームセットのみ以下が付属されます。



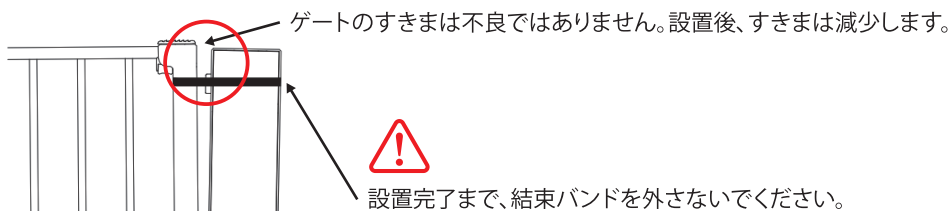
拡張フレーム
14cm幅×1、7cm幅×1



拡張フレーム
固定具×2

⚠️ 設置前の本体の仕様について

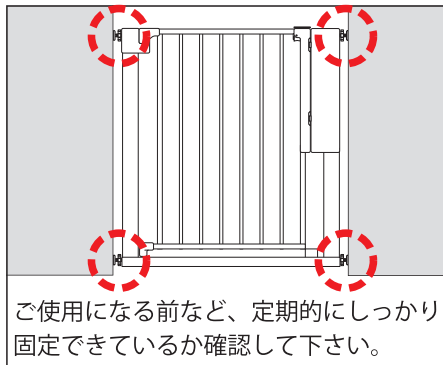
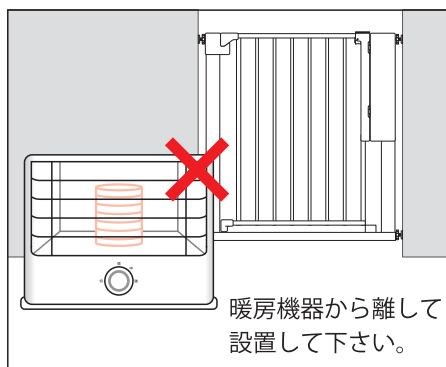
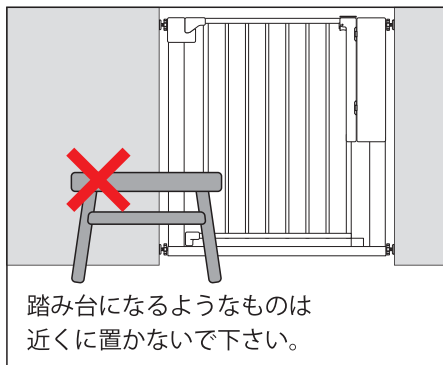
設置前の本体は、図の○部分のように少し外側に開いた状態となっておりますが不良ではございません。

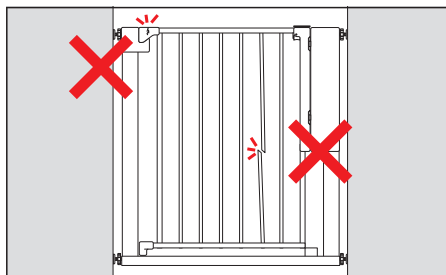


設置の際、しっかり固定できるようにゲートロック部分が少し開いた使用となっております。
正しく設置完了後、すきまは約1.5mmになります。
設置を容易にするために、完了まで結束バンドを外さないでください。

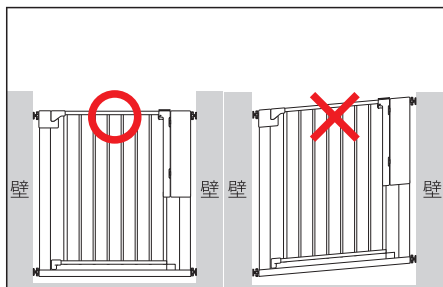
設置の注意事項

取付け前に、設置する場所や下記の注意事項をご確認ください。

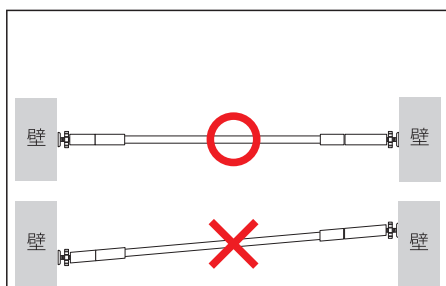




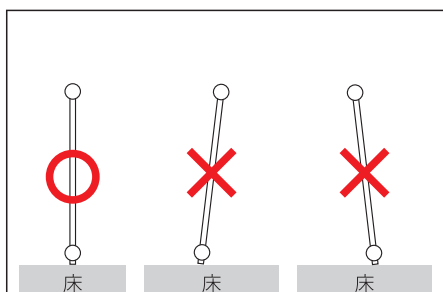
ゲート本体や部品が破損したら、
ただちに使用を中止して下さい。



床に対して水平に設置して下さい。



壁に対して垂直に設置して下さい。



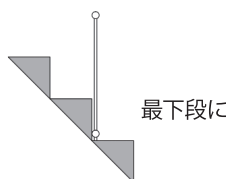
床に対して垂直に設置して下さい。



階段でお使いになる場合、以下の点にご注意ください。



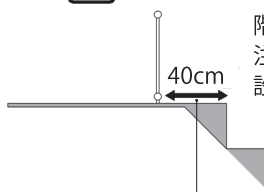
階段上り口でご使用の場合



最下段に設置してください。



階段降り口でご使用の場合

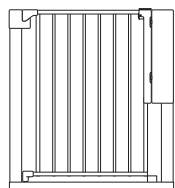


階上に設置してください。
注意：階上より低い位置(階段)に
設置しないでください。

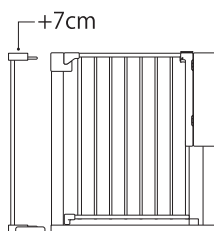
階段降り口に設置する際、
階上端より最低40cm離れた場所に設置し、
必ず補助ソケットと補助ソケット用ネジで
固定してください。

設置の仕方

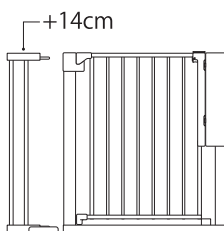
①ゲートを設置場所の幅に合わせて、下記の通り組み合わせてください。



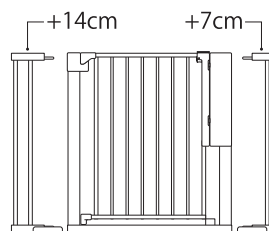
設置幅77～82cm



設置幅83～89cm



設置幅90～96cm



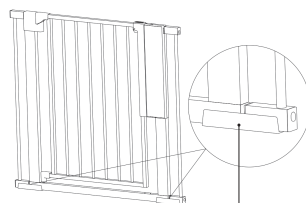
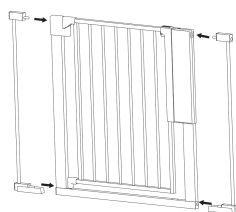
設置幅97～103cm

※拡張フレームセットのみ対応

拡張フレームで使用の際は下図の通り組み立ててください。

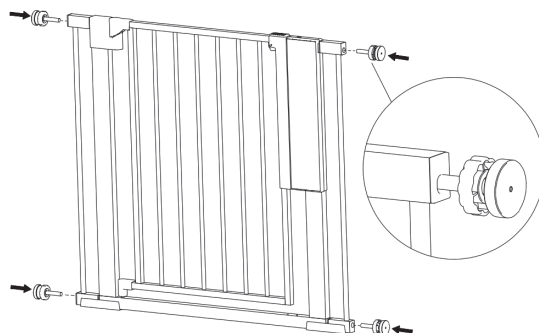
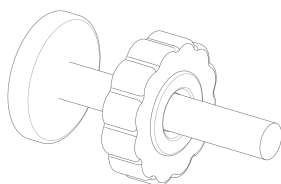


拡張フレーム固定具



拡張フレーム固定具

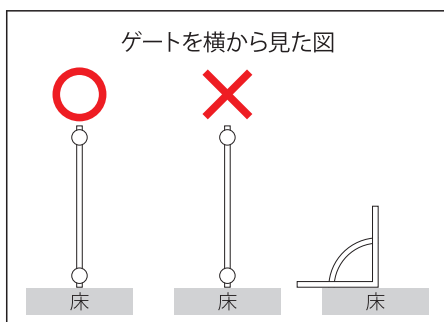
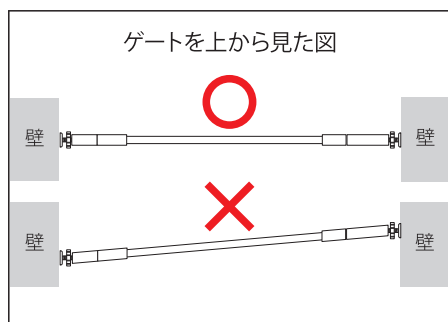
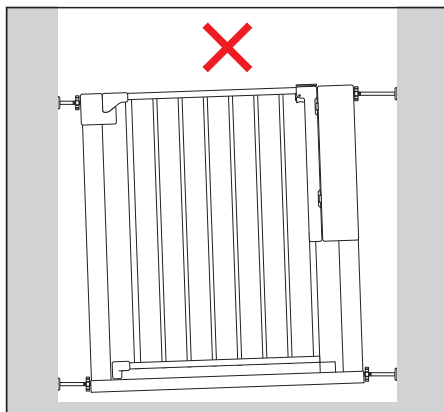
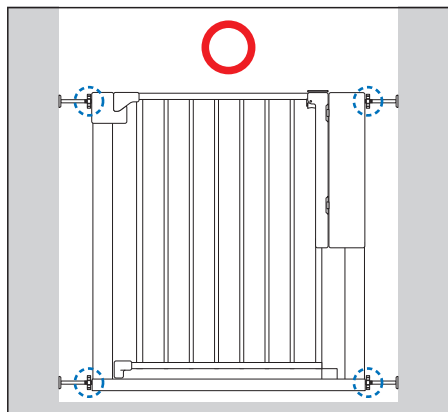
②調節ノブを取付ボルトに取り付け、ゲート本体に差し込んでください(4箇所)。



注：上図は拡張フレームを取り付けた状態です。

③取付位置を確認するため、設置する場所に本製品を置き、仮留めをします。
先に下部の調節ノブ(○)を軽く締め、その後上部の調節ノブ(●)を締めます。

注:この際に本体が水平・垂直に取付けられている事を確認してください。
※斜めに取り付けられたり、歪んで取り付けられていないかご注意ください。



補助ソケットの仕様について

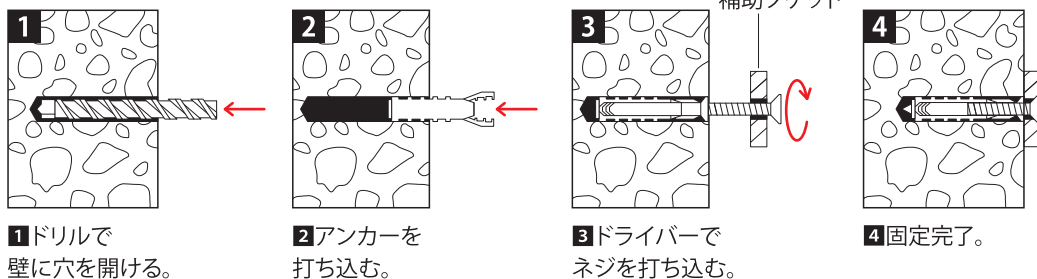
④-1 階段降り口でご使用の場合

必ず補助ソケットと補助ソケット用ネジで固定してください。

※壁が石膏ボードの場合、壁にアンカーを打ち込んでから補助ソケット用ネジで固定してください。



石膏ボードへのアンカーの打ち込み方

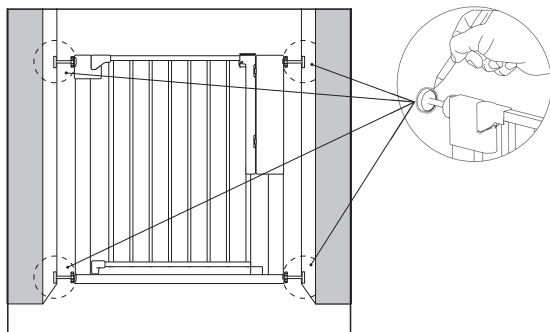


④-2 階段上り口や廊下などで使用の場合
補助ソケットを使用するとより強く固定できます。
壁が石膏ボードの場合、両面テープをお使いください。
壁が木質の場合、補助ソケット用ネジをお使いください。

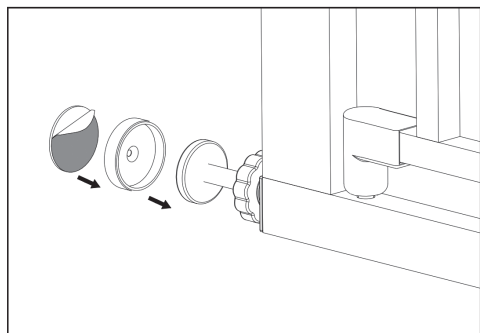


注意: 補助ソケットを取付ける前に、必ず壁の材質・強度をご確認ください。
両面テープによる壁紙のはがれ、ネジ・アンカーによる穴あきはご了承の上で使用ください。

⑤ 補助ソケットを使う場合、取付ボルト滑り止め部分に沿って鉛筆等で印を付けてください。



⑥ 補助ソケットを両面テープで印を付けた箇所に貼ってください。

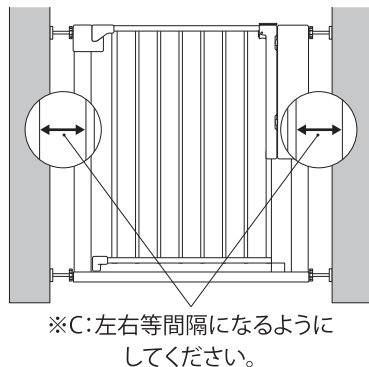
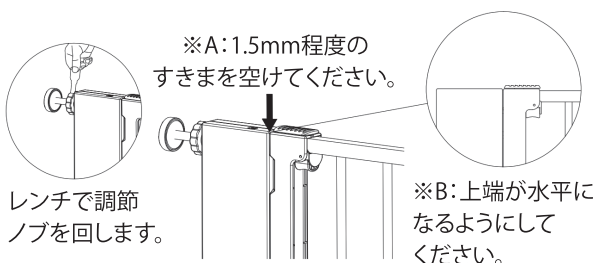


⑦レンチを使って調節ノブを回し、ゲートをしっかりと固定します。

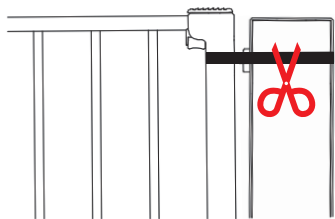
※A: ゲートロックとゲート本体上部に1.5mm程度のすきまを空けてください。

※B: ゲートロック上端と本体上端が水平になるようにしてください。

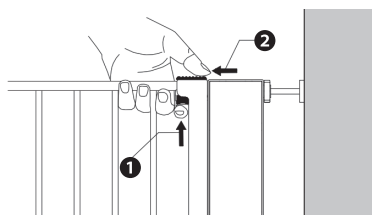
※C: 本体左右と壁との間が均等になるようにしてください。



⑧結束バンドを切り、本体を軽く揺すり、安定してるか確認してください。



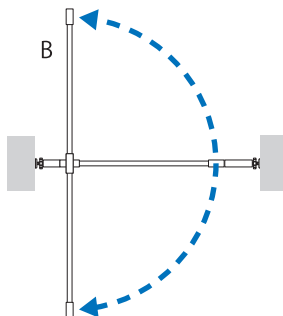
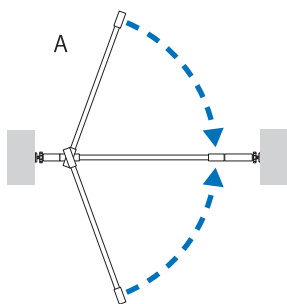
⑨下図の通り、ドアを手動で開閉してください
(①ボタンを押し、②をスライドします)。



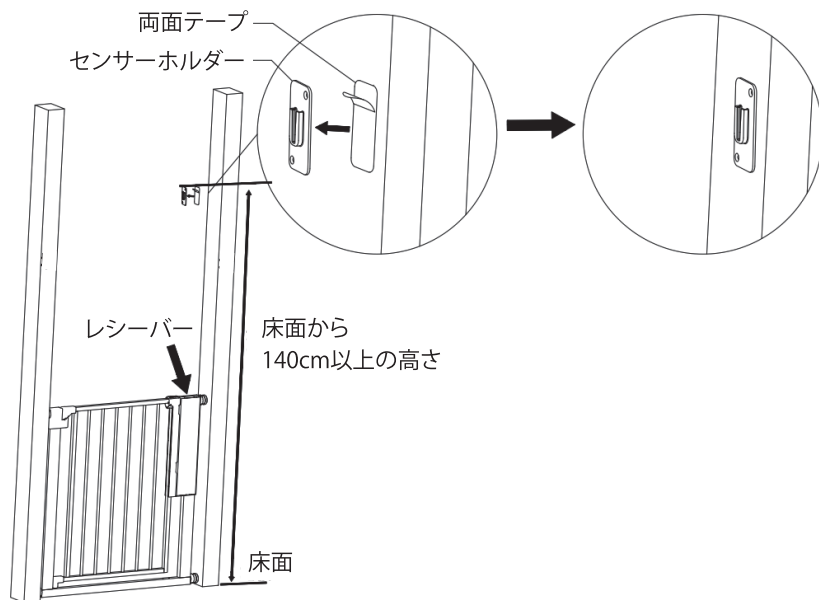
ゲート設置後の確認事項

・ゲート設置後に必ずドアの開閉動作を手動で何度か行い、確実にドアがロックされるか確認してください。
※ロックされない場合、正しく設置できていない可能性があります。前ページ⑥をご覧ください、調節を行ってください。

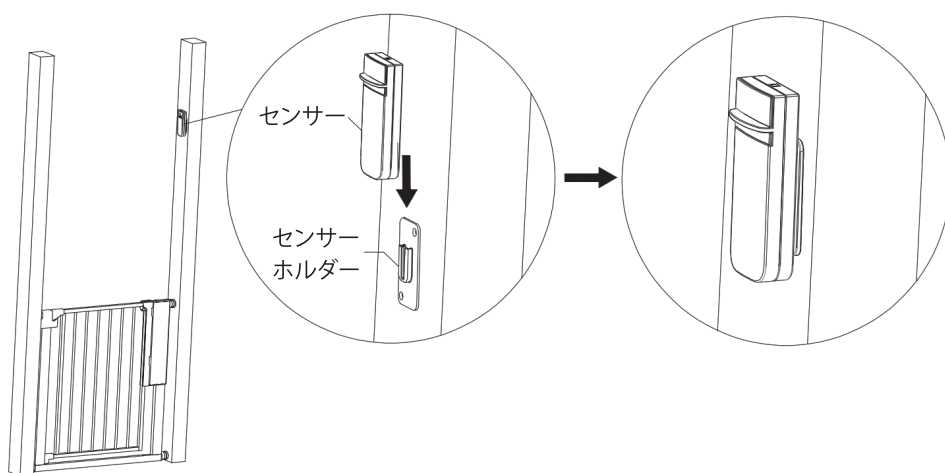
- ・ドアを開いた状態 (90度未満) で手を放すと自動的にドアが閉まります (A)。
- ・ドアを開ききった状態 (90度) で手を放すと、ドアが開放状態になります (B)。



- ⑩両面テープをセンサーホルダー裏面に貼り、床面から140～180cmの高さの位置の壁面にセンサーホルダーを貼り付けてください(お使いになる方の肩の高さくらいが適切です)。
※センサーホルダーは必ずレシーバーと同じ側に貼り付けてください。

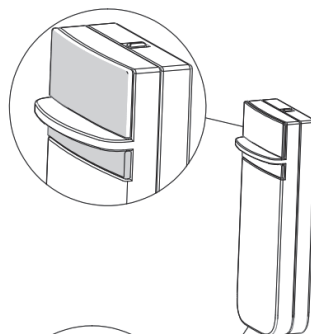


- ⑪下図にしたがってセンサーをセンサーホルダーに差し込んでください。

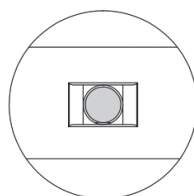


センサー設置時の注意事項

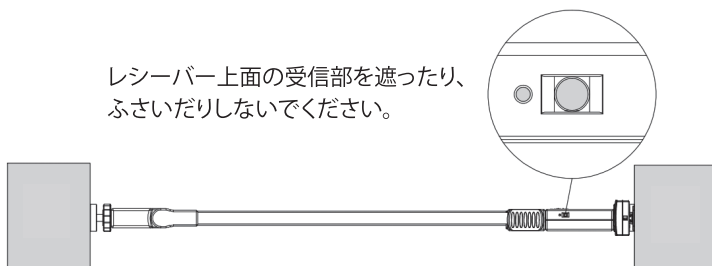
センサー前面の感知部を遮ったり、
ふさいだりしないでください。



センサー下部の送信部を遮ったり、
ふさいだりしないでください。



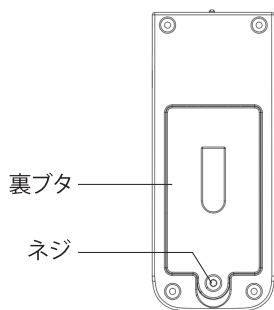
レシーバー上面の受信部を遮ったり、
ふさいだりしないでください。



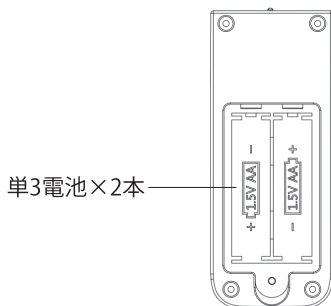
※以上が守られないと、センサー・レシーバーが正常に作動しません。

センサー・レシーバーの使い方

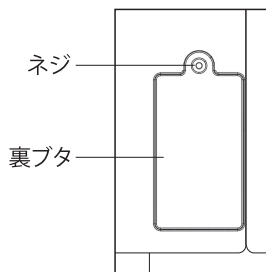
①センサー裏ブタのネジをドライバーでゆるめ、裏ブタを開けてください。



②単3電池2本を入れてください。
※電池の＋の向きにご注意ください。

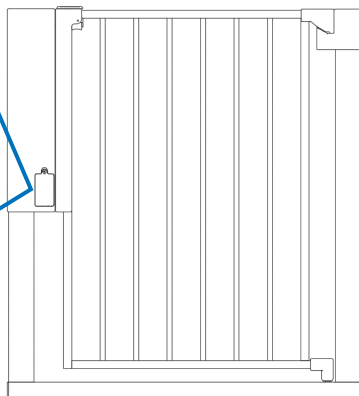
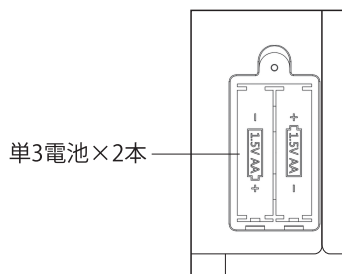


※センサー電池交換について
 ・電池寿命は約2-3ヶ月です。
 (常時電源オンの状態で)
 ・交換時期:センサーライトが連続して赤く点滅します。



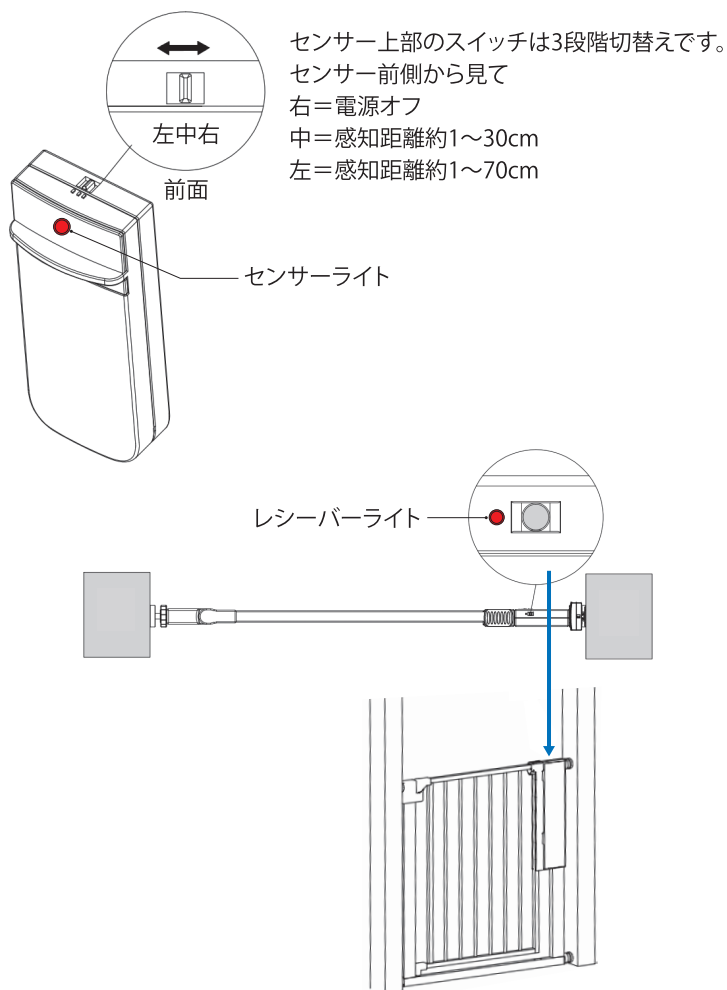
③レシーバー裏ブタのネジをドライバーでゆるめ、裏ブタを開けてください。

④単3電池2本を入れてください。
※電池の＋の向きにご注意ください。



※レシーバー電池交換について
 ・電池寿命は約1ヶ月です。
 (常時電源オンの状態で)
 ・交換時期:連続した“ピピピピッ……”というアラーム音でお知らせします。

センサーについて



オートアンロック/ロックシステム

①センサーが人を感知すると、センサーライトとレシーバーライトが赤く1回点灯し"ピッ"という音が出て、ドアのロックが解錠されます。ドアを軽く押して開き、ゲートを通過してください。

※ドアが開いたままにすると、約3秒後に"ピピピピッ"と警報音が鳴ります。ドアが閉まりロックされると音が鳴り止みます。

②ドアが閉まると、約1秒後にロックが掛かります（ロック解錠後にドアの開け閉めがない場合、約3秒後にロックが掛かります）。

③もしセンサーが人を感知しない場合は、いったん下がって再度感知エリアに入ってください。

〈センサー感知エリア〉

